

事故事例

エンジン始動時にバッテリー破裂事故

全車両

事故発生状況

エンジンを始動させたところ、バッテリーが破裂した。



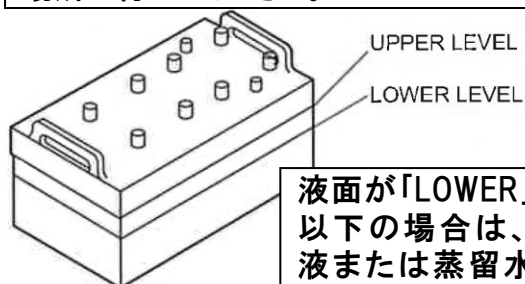
原因

バッテリー液量が不足した状態(バッテリー内の極板が露出)で使用を続けたため、極板が劣化して火花が発生し、破裂に至ったと思われる。

対策

バッテリーのメンテナンスを行う

バッテリーは充電や自己放電時に水素と酸素が発生しています。外部から充電を行うときは、風通しのいい場所で行ってください。



液面が「LOWER」の線以下の場合は、補充液または蒸留水を補充してください。

- ・バッテリー液量の確認は、日常点検(法定点検)項目に指定されています。運行前に点検を行ってください。
- ・3ヶ月、12ヶ月点検時にはバッテリーの液量や比重、ターミナル部の接続状態の確認を行ってください。

詳細は取扱説明書を参照してください。